※令和３年度以前入学生用

学校番号	406

令和５年度　情報科

教科	情報科	科目	情報の科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　情報の科学　（第一出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年次に学んだ「社会と情報」の内容を踏まえ、ＬＡＮ教室でのパソコンを用いた実習や、教室での座学の授業を行います。
・我々が普段使っているコンピュータはどのようにして動作しているのか、また、ネットワークの仕組みなどを学びます。
・いろいろなソフトを使って２年次よりも高度な実習を行います。作品の提出やプレゼンテーションの練習も行います。
・成績は、課題の達成状況や発表など、授業への取組状況を重点的に評価します。そのため、毎回休まず出席することが望まれます。

２　学習の到達目標

(1) 情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する。
(2) 情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。
(3) 情報の収集・処理・発信やプログラミングの基礎などの情報活用能力を身につける。
(4) 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	授業態度 観察 発表 課題提出状況	観察 発表 テスト	観察 テスト	観察 テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期		文書作成ソフトと表計算ソフトを用いた実習	○		○		a:主体的に取り組んでいる b:ソフトの様々な機能を活用できている c:課題を達成できている d:ソフトの操作方法を理解している	授業態度 観察 課題提出状況 テスト
	第2章	コンピュータと情報 （アナログとディジタル、２進数、コンピュータ内での情報の表現・処理）	○	○		○	a:コンピュータが動く仕組み、情報の表現方法、２進数について関心を持って取り組んでいる b:アナログとディジタルのそれぞれの長所を考えることができる c:２進数の計算、および１０進数と２進数の相互変換ができる d:コンピュータ内では、あらゆる情報が２進数で表現できることを理解している	授業態度 観察 課題提出状況 テスト
2学期	第3章	情報通信ネットワークと情報社会	○	○		○	a:ネットワークや電子メール、ウェブの仕組みについて興味を持つ b:情報セキュリティの脅威とそれに対する対策を考えることができる c:日常生活において、情報システムを使えている d:身のまわりで運用されている情報システムがわかる	授業態度 観察 課題提出状況 テスト
	第4章	問題解決とモデル化 プレゼンテーションの作成と練習	○	○	○		a:主体的に取り組んでいる b:問題解決にあたり、どのような手段を使うのが適切かを考えることができる c:必要な情報を集めることができる d:さまざまな問題解決の手法を理解している	授業態度 観察 発表

※令和３年度以前入学生用

３学期	第６章	総合実習	○	○	○	○	a:主体的に取り組んでいる b:効率の良い解決方法を考えられている c:今までに学んだことを活用できている d:今までに学んだことを理解している	授業態度 観察 課題提出状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。